

# 路上観察

## 路上観察の起源

- 考現学・・・今和次郎
  - 考現学の起源：吉田謙吉と今和次郎が 関東大震災後の焼け跡の中の東京を歩き、バラックや道行く人々をスケッチした
  - 考現学の対象：繁華街を歩く人々の服装、履き物の種類、職業・年齢の統計から、人が道をどのように歩いているか、どこにむかっているかなどの調査

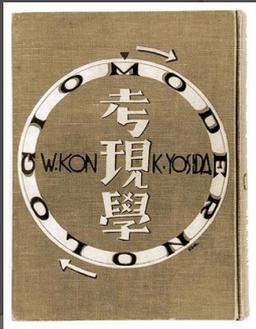
## 今和次郎

- 1894～1973。弘前市生まれ。東京美術学校図案科卒業後、早大建築科に教鞭をとる。その研究領域はきわめて広く、独創的で、アカデミズムの枠にとらわれぬ多彩な業績をのこした。ことに、昭和2年(考現学)を提唱、犀利な観察力とすぐれた現実感覚によって幾多の分析を行い、建築学、民俗学はもとより、あらゆる方面に多大な影響を与えた。名著『モデルノロジオ』をはじめ民家研究、服装研究など夥しい著作がある。



## 考現学

- 『考現学』今和次郎・吉田謙吉共著 昭5.7 春陽堂



## 街頭観察の記録

- 風俗観察の記録
  - 今純三「考現学採集ハガキ」和次郎宛



## 街頭観察の記録

- 街並みの観察
  - 今純三「青森駅前大通」エッチング

